

# リハビリ通信

第18・19号  
令和4年1月17日  
リハビリ通信担当発行

## 1. 宇都宮農園

リハビリテーション科屋上テラスにて園芸療法として農作物を育てていましたが、収穫の時期となり多くの野菜や実ができました。

ピーマンやなすなどは多く収穫ができ、患者さんにも実際にはさみを使って採っていただきました。大きな作物を採ったときの満足そうな表情はとても印象的でした。顔ほど大きなひょうたんや普段見ないパッションフルーツも多く収穫できました。長期入院の患者さんにとっては苗を植えた頃から世話をさせていただき、一つの楽しみになったと思います。



## 2. 季節の行事

当院では患者さんに対して季節を感じることや活動意欲の向上、作業を通した身体機能向上などを目的として、季節の行事をリハビリの一環として行っています。

各月ごとに行事や風習にちなんだ作品を皆さんに作っていただきました。はさみやのりなどの道具を使って作業し、なかには思い出などを話してくださる患者さんもいらっしゃいました。リハビリの中でも楽しみながら参加して頂けたと思います。

出来上がった作品は作業療法室に飾らせていただきました。



8 月は花火を模した折り紙を貼ってもらいました。

9 月はお月見ということで満月と団子を作りました。



10 月はハロウィンでお面などを使って仮装しました。



11 月はコスモスの花を折り紙で作りました。

12 月はクリスマスツリーの飾りつけを行いました。



### 3. リハ科内研修

当科ではスタッフの研鑽を目的として、教育係を中心に勉強会などを定期的に行っています。

8 月は日常生活動作（食事・トイレ・更衣）の動作分析について、若手の作業療法士スタッフが講師となって実技研修を行いました。実際に動いてみてどこの身体部位をどのように動かすのか、どういった感覚が働くのかということを感じながら研修を行いました。また、評価をする際にどこに注目するのかといった、臨床で行っている経験をスタッフが共有する場にもなりました。講師を務めた若手スタッフは初めての経験でしたが、講義の準備を入念に行い、今まで学習してきたことや自分の考えを一生懸命に伝えている姿が印象的でした。



当科では、新人に対しての教育だけではなく、若手スタッフに向けた教育プランも行っています。当科でできうる経験を多くしてもらい、次のステップでも通用していくスタッフを育成していけるよう今後も取り組んでいきたいと思えます。

なお、科内で行った研修に関しては、スタッフの体調を確認し、十分に感染対策を行った上で実施しました。

#### 4. 新人症例発表

新人教育の一環として、9月に新人スタッフによる症例発表会を科内にて行いました。1症例についてレジュメ形式での資料作成と7分間の口頭発表という形で行いました。今年は理学療法士・作業療法士それぞれ1名ずつの新人スタッフがそれぞれアドバイザーのス



タッフから指導を受けながら、発表の準備を進めていました。症例に対する自分の考えを資料にまとめることや聴衆の前で発表することがなかなかない経験で、一生懸命に取り組んでいました。

発表では科内のスタッフが参加し、多くの先輩の前で発表するという事で緊張がはっきりとわかる様子でしたが、しっかりと声を出して自分の考えを発表することができていました。また、質問に対しても自分の考えを答える様子が見られました。

今回の症例を通して、患者さんと向き合った時間や先輩から多くの助言をもらい、新人スタッフにとって実りある経験になったと思います。ご協力頂いた患者さんにこの場を借りてお礼申し上げます。

## 5. 新しいトレーニング機器を追加導入しました

リハビリテーション室に新しいリカンベントバイクが追加導入されました。リカンベントバイクは、ゆったりとした姿勢で自転車のペダルをこぐような動きでトレーニングする機器です。当科では整形外科の患者さんがトレーニングとして使うほか、外科・呼吸器内科等の患者さんの体力向上、糖尿病患者さんへの運動療法などに使



用しています。今回導入した機器は、モニターが大きく見やすくなっていることが特徴で、消費カロリーに応じて画面の絵が変わるといった機能も付いています。

## 6. 第 75 回国立病院総合医学会

毎年行われている国立病院総合医学会が 10～11 月にかけてオンライン上で行われ、当院リハビリテーション科からは月岡理学療法士・鈴木理学療法士による演題発表がありました。リハビリテーション科の教育システムについて整備している事例を発表した内容となっており、昨年に続いた発表となっています。

演題「当科における 3 ヶ年教育システムの構築」

月岡亮、鈴木裕介

- 第 75 回国立病院総合医学会 HP

URL : <https://site2.convention.co.jp/75nms/>

## 7. リハビリテーション室からの風景

8月



朝にかかった虹



夕焼けと雲海

9月



残暑のラウンジ



青天と高原山・那須連山

10月



岡本駅側に出たスーパームーン



旧東病棟と東門方面

11月



屋上に来たオナガ



紅葉と男体山

12月



雪を被った男体山・女峰山



作業療法室から見えた富士山

夏があっという間に過ぎ、秋・冬にかけてぐっと冷え込むようになりました。最近では氷点下になる日が多く、足元が凍ってしまい転倒の注意が必要です。また、急激な温度差によるヒートショックで心臓発作や脳卒中といった循環器系の疾患が増えてくる時期でもあります。屋外ではしっかりと踏みしめて歩く、屋内では適度に暖房をかけるなど予防に努めて、健康な一年を過ごしましょう。